

## 7. 集中講座について

学部間共通外国語では夏季・春季休業期間中に以下の集中講座を実施しています。

	夏期集中講座（学内） （夏季休業期間中）	英会話春期集中講座 （春季休業期間中）	夏期海外英語研修* （夏季休業期間中）
開講科目	English Intensive Course I・II・III [英会話 I・II・III（集中講座）] ドイツ語会話 I・II・III（集中講座） フランス語会話 I・II・III（集中講座） 中国語会話 I・II・III（集中講座）	English Intensive Course I・II・III [英会話 I・II・III（集中講座）]	English Intensive Course I・II・III [英会話 I・II・III（集中講座）]
募集時期	掲示, Oh-o! Meiji等で案内します。		5月中旬
開講形式	学内施設を使用しての学内コース（夏期）、宿泊形式の合宿コース（春期）とも、主にネイティブ・スピーカーが講師となり、視聴覚機器・情報機器等を利用し、集中的な少人数教育で行います。		ヨーク大学（カナダ）、シェフィールド大学（イギリス）、マクマスター大学（カナダ）に滞在（寮またはホームステイ）、通学しながら約1ヵ月間の海外留学を経験します。
応募について	掲示や募集要項, Oh-o! Meijiのお知らせを確認してください。 ※事前にクラス分け（選抜）試験あり		募集時期に配信されるOh-o! Meijiのお知らせや、ホームページを確認してください。 ( <a href="http://www.meiji.ac.jp/cip/shorttermstudy/index.html">http://www.meiji.ac.jp/cip/shorttermstudy/index.html</a> )

\*夏期海外英語研修に関する問い合わせ先は、国際教育事務室（03-3296-4868）です。

\*開講科目、開講形式は都合により変更する場合があります。

\*履修登録について

集中講座については、参加手続き時に、別途履修登録を行います。

詳細については、募集時期に配布される募集要項や、クラス分け試験後に配布される参加手続き書類等で確認をしてください。

\*履修のルールについて

- (1) 事前に選考試験を行い、その結果によりグレードを振り分けることから、P.4に記載の「グレード科目に対する履修ルール i（原則として履修順序は低いグレードから高いグレードの順とする）」は適用外とします。
- (2) 選考試験の結果、過去年度に履修し、単位を修得したグレードと同一グレードに振り分けられた場合、当該年度の履修登録はできません。（手続きのうえ、講座に参加することは可能。）
- (3) 受講する科目が修得上限単位数（P.21参照）を超えた場合、当該科目を単位認定のないものとしします。
- (4) 英会話春期集中講座について、当該年度の4年生及び3年次早期卒業予定者が受講した場合、単位修得は認められません。
- (5) 夏期集中講座及び夏期海外英語研修について、当該年度の秋季卒業（9月）を希望する場合、単位修得は認められません。

## 8. 事務取扱窓口

\*学部間共通外国語科目に関する事務取扱いは、下記の窓口にて行っています。質問、相談は下記まで。

キャンパス	事務室	掲示板
駿河台	教務事務室 リパティタワー5階	リパティタワー5階
和泉	和泉教務事務室 第一校舎1階9番カウンター	第一校舎1階
生田	生田キャンパス課 中央校舎1階	中央校舎1階
中野	中野キャンパス事務室 低層棟3階1番カウンター	高層棟1階 学生インフォメーション（共通教務掲示板）

## 科目紹介 内容とレベル指標

### 集中講座 ※ P5参照

#### 《英語》

#### ～English Intensive Course I / 英会話 I (集中講座)～

##### ▶科目内容

日常の身近な話題についての英語を聞いて情報を理解し、自分の考えを表現できる基礎的な能力を養う。

##### ▶現在のレベル

高校オーラルコミュニケーション I 修了程度。英検 3 級程度。

##### ▶到達レベル

TOEIC440点, TOEFL(iBT) 45点, IELTS5.0

#### ～English Intensive Course II / 英会話 II (集中講座)～

##### ▶科目内容

幅広い話題についての英語を聞いて情報を理解・整理し、自己の考えを発表し、話し合う能力を伸ばす。

##### ▶現在のレベル

English Communication I (英会話 I) や高校オーラルコミュニケーション II 修了程度。英検準 2 級程度。

##### ▶到達レベル

TOEIC580点, TOEFL(iBT) 61点, IELTS6.0

#### ～English Intensive Course III / 英会話 III (集中講座)～

##### ▶科目内容

幅広い話題について効果的に発表し、討論する。スピーチの要点を聞き取り、ノートを取り、意見をまとめる。ロールプレイやディベートも行う。

##### ▶現在のレベル

English Communication II (英会話 II) 修了程度。英検 2 級程度。

##### ▶到達レベル

TOEIC730点, TOEFL(iBT) 80点, IELTS6.5

## 《ドイツ語》

### ～ドイツ語会話Ⅰ（集中講座）～

#### ▶科目内容

ドイツ人の先生と一緒に、挨拶や自己紹介、簡単な質問など初歩的な学習をする。

#### ▶現在のレベル

何よりもドイツ語で話してみたいという意欲が大切であるが、できれば発音、動詞の現在人称変化、名詞の格変化程度の初歩的な文法を春学期に習得しておくことが望ましい。

#### ▶到達レベル

挨拶や自己紹介、簡単な質問がドイツ語ででき、ドイツ人との意思疎通がはかれるようになる。

### ～ドイツ語会話Ⅱ（集中講座）～

#### ▶科目内容

ドイツ人の先生と一緒に、挨拶等の初級会話の復習から始め、自分の意見や考えを相手にドイツ語で伝える練習をする。

#### ▶現在のレベル

二年生のレベルの学生を対象。一年次での基本的文法を一通り習得しておくことが必要。挨拶や自己紹介等の初歩的会話（ドイツ語会話Ⅰ）も練習しておくことが望ましい。

#### ▶到達レベル

自分の考えや意見など、より詳しいことをドイツ語で伝えられるようになる。使える単語800程度、ひとりでドイツ語圏へ旅行しても困らない程度の語学力が目標。

### ～ドイツ語会話Ⅲ（集中講座）～

#### ▶科目内容

ドイツ人の先生と一緒に普通の会話を楽しめる練習をする。

#### ▶現在のレベル

二年生以上の学生を対象。挨拶や自己紹介ばかりでなく、自分の言いたいこともある程度話せる。

#### ▶到達レベル

日常の会話のみならず、何かのテーマについて自分の意見などをある程度自由に発言し、議論できるようになる。

## 《フランス語》

### ～フランス語会話Ⅰ（集中講座）～

#### ▶科目内容

フランス人と話した経験のない学生が「まるでフランスにいるみたい」という感想を持つほど、フランス語圏出身の教師の指導のもとで沢山のフランス語に触れることができます。

#### ▶現在のレベル

4月からフランス語を習いはじめた学生やもう一度基礎からやり直したい学生を対象にしたコースです。発音を丁寧に学び、基礎的な知識を復習しながら初級会話を練習します。

#### ▶到達レベル

午前中はテキストを使って、基礎知識を身につけ、午後は午前中に勉強した項目の復習や別のアクティビティを通して、自然な初級会話力の習得を目指します。

### ～フランス語会話Ⅱ（集中講座）～

#### ▶科目内容

会話力の基礎をフランス語圏出身の教師との授業を通して確実なものとしします。「あっという間に終わった。もっと勉強したかった」という学生が現れるほど会話の楽しさを味わえるクラスです。

#### ▶現在のレベル

基礎的な文法を一通り学んだ学生に最適なクラスです。日常会話のほかに自分の意見や気持ちをきちんと表現できるようになります。会話能力が身につきます。

#### ▶到達レベル

「より確実にフランス語が話せるようになった！」と思われるレベルを目指します。話せる喜びを味わうと勉強はもっと楽しくなります。

### ～フランス語会話Ⅲ（集中講座）～

#### ▶科目内容

中級又はさらにレベルアップしたい学生を対象としたコースです。少人数でリラックスした雰囲気の中で、自由に発言し、本当の会話ができるクラスです。

#### ▶現在のレベル

フランス語圏出身の教師と様々な話題を自由に語りあってみましょう。間違えることを恐れずに、どんどん話すのが上達の秘訣です。このクラスでは口頭練習を重視するので発言力が向上します。

#### ▶到達レベル

自由にフランス語でexpressionやconversationができるようになることが目標です。またビデオやインターネットを使ってフランスのニュースを見、聴きながら、聴く能力とコメントする力を高めます。

## 《中国語》

### ～中国語会話Ⅰ（集中講座）～

#### ▶科目内容

ピンイン記号からはじめて、中国語の基本的な会話能力を養成する。くり返し基本語彙と正しい文型を練習し日常会話を身につける。

#### ▶現在のレベル

はじめて中国語を学ぶ学生。

#### ▶到達レベル

中国語の正しい発音を身につけ、簡単な会話・自己紹介が可能になる。

### ～中国語会話Ⅱ（集中講座）～

#### ▶科目内容

中国語を口に出してくり返し練習して、語彙力と文型を増やし会話能力を高める。

#### ▶現在のレベル

一年次レベルの発音と文法知識は既習していること。

#### ▶到達レベル

きちんと自己紹介ができ中国人と話したり、中国旅行が自力でできる。

### ～中国語会話Ⅲ（集中講座）～

#### ▶科目内容

会話能力を磨き、中国語のテレビ放送・ビデオなども見たりする。

#### ▶現在のレベル

中級レベルの会話を使いこなせること。

#### ▶到達レベル

中国人と会話をし、中国語のテレビ放送を見て中国の最新の情報を把握できるようになる。

### 授業の概要・到達目標

This course is aimed at beginners and false beginners many of whom will be taking an English class taught by a native speaker for the first time. One important objective of the course is to enable students to segment the speech stream into meaningful units so that they can utilize previously acquired recognition vocabulary, knowledge of English word order and grammatical units. Another important objective of the course is to expose students to and give them practice in using, vocabulary, structures, and functions needed for communicating about daily affairs with sufficient speed and spontaneity to maintain a reasonable conversation.

### 授業内容

The course will utilize a textbook, DVD, and in some cases video and audio tapes. Students will use the materials to develop their listening comprehension skills. They will also work in pairs and small groups to develop their speaking skills. The textbook has ten lessons, and at least one class will be required to cover each textbook lesson.

### 履修上の注意

This course is open to students who are taking spoken English for the first time or who have not yet reached a level of proficiency sufficient for entry to English Intensive Course II. It is expected that most students in the course will have completed six years of English at the secondary level and will be taking or have taken required English classes in their designated faculties. Each class is limited to a maximum of 25 students. The course is designed for practice and participation. Students are expected to attend all classes, prepare homework and other assignments, and participate positively in class activities.

### 準備学習の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

### 教科書

To be announced.

### 参考書

Reference Materials: English-Japanese, Japanese-English dictionary (electric is okay!)

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点 (授業態度や授業での発言等によって評価) 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、夏期集中講座については、9日間(45時間)の講座のうち、3日(15時間)以上欠席した場合、「T」(「T」がない学部については「F」)となり、単位の認定はできません。

### その他

Selection Examination

A listening comprehension examination will be administered to select students for the program and assign levels.

### 授業の概要・到達目標

This course is aimed at students who can understand and use spoken English well enough to conduct such daily life activities as asking for and giving directions or shopping, but who lack sufficient vocabulary and control of complex sentence structure and grammatical elements to discuss social, political and academic matters. Important objectives of this course are expanding student control of active vocabulary, increasing the range of communicative functions available to students, gaining facility in using complex sentences for speaking and writing, and acquiring the ability to talk about school life, social life, social and political issues, literature, experiences, and future desires and goals.

### 授業内容

The course will utilize a textbook, DVD, and in some cases video and audio tapes. Students will use the materials to develop their listening comprehension skills. They will also work in pairs and small groups to develop their speaking skills. They will also be asked to write short compositions or letters from time to time. The textbook has 10 lessons, and at least one class will be required to cover each textbook lesson.

### 履修上の注意

This course is open to students who have taken English Intensive Course I or its equivalent or who have an English proficiency level equivalent to STEP Grade 3 or TOEFL 490. It is expected that most students in the course will be taking or have taken required English classes in their designated faculties. Each class is limited to a maximum of 25 students. The course is designed as a practice and participation course. Students are expected to attend all classes, prepare homework and other assignments, and participate positively in class activities.

### 準備学習の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

### 教科書

To be announced

### 参考書

Reference Materials: English-Japanese, Japanese-English dictionary (electric is okay!)

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点 (授業態度や授業での発言等によって評価) 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、夏期集中講座については、9日間(45時間)の講座のうち、3日(15時間)以上欠席した場合、「T」(「T」がない学部については「F」)となり、単位の認定はできません。

### その他

Selection Examination

A listening comprehension examination will be administered to determine level.

### 授業の概要・到達目標

English Intensive Course III is an advanced course that uses activities such as public speaking, debate, discussion, drama, producing a magazine or a photography show to help students learn English. In this class students are expected to clarify and organize their ideas about various subjects and then express them effectively by making speeches, debating, discussing, and acting in English. Students will learn to make speeches to inform, to persuade, to entertain, or to inspire. Students will debate or discuss important social issues, perform in a play, write and edit a magazine, or take photographs and present their results.

### 授業内容

After receiving an orientation from the instructors to assess their level, students will then be divided into groups according to the activity they select. Students will be given instructions on how to carry out their activities and a schedule will be fixed. Finally, students will exhibit the results of their work to the staff and their fellow students.

### 履修上の注意

This course is open to students who have taken English Intensive Course II or its equivalent or who have an English proficiency level equivalent to STEP Grade 2 or TOEFL 500. It is expected that most students in the course will be taking or will have taken required English classes in their own faculties. Each class is limited to a maximum of 15 students. The course is designed to be a practical course and participation is vital. Students are expected to attend all classes, prepare homework and other assignments, and participate positively in class activities.

### 準備学習の内容

Review the points covered in class in the handout and ask questions in class about topics that are unclear. Study the handout and reading materials in preparation for next class.

### 教科書

Textbook: To be announced

### 参考書

Reference Materials: English-Japanese, Japanese-English dictionary (electric is okay!)

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点 (授業態度や授業での発言等によって評価) 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、夏期集中講座については、9日間(45時間)の講座のうち、3日(15時間)以上欠席した場合、「T」(「T」がない学部については「F」)となり、単位の認定はできません。

### その他

Selection Examination

A listening comprehension test will be administered to each class.

### 授業の概要・到達目標

明治大学と協定校のシェフィールド大学（イギリス）が共同して、約1ヵ月間の英語研修を開講します。研修は、中心となる英語授業のほか、プロジェクトワーク、ホームステイ、各種課外活動などで構成されています。実践的な英語能力の向上と英国文化の理解向上を目標とします。英国への留学を考えている方はもちろん、ホームステイを体験したい方、英国文化・社会に興味のある方にお勧めです。

#### 【研修の特徴】

- 英語授業……現地で実施しているUniversity English-Full Time General English Courseの英語コースで4週間、他国からの留学生と一緒に授業を受ける予定です。
- ホームステイ……現地での滞在は、ホームステイを予定しています。授業で学ぶ英語だけではなく、ホストファミリーの家族の一員として生活することで、英国文化、国民性、食生活といった異文化を体験する貴重な経験が得られます。

### 授業内容

- (1) シェフィールド大学英語教育センター（ELTC：English Language Teaching Centre）は英国の大学付属語学学校の中でも最大規模で、世界各国からの留学生を年間3千人以上教えています。教師陣は日本人を含む英語を母国語としない学生への教授経験が豊富ですので、安心して授業を受けることができます。
- (2) 午前中は、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングを総合的に学びつつ、文法や語彙力の向上を図ることで実践的な英語能力の定着を目指します。午後は、「IELTS対策」「会話と発音」「英国の文化」「聴解と語彙」などの中から選択することができます。

### 履修上の注意

シェフィールド大学研修参加希望者は、スコアは問いませんが、応募時に以下のいずれかの英語能力試験のスコアを提出する必要があります。

TOEIC (TOEIC, TOEIC-IP), TOEFL (TOEFL-iBT, TOEFL-ITP), IELTS

### 準備学習の内容

研修国・地域の文化、生活習慣、社会事情等の基礎知識を得るために、各自で事前調査を行ってください。また、研修に出発するまでに、さらに語学力向上を図るため、自主学習を行ってください。学内で実施している講義・講習を受講することも推奨します。

5月から7月にかけて、計3回実施予定の渡航前オリエンテーション（異文化理解や海外での危機管理対策等の内容を含む）及び出発前・帰国後に実施する事前・事後学習への参加を必須とします。

### 教科書

シェフィールド大学英語教育センター指定のテキストを使用。

### 参考書

必要に応じて紹介します。

### 成績評価の方法

期末レポート、平常点、派遣先教育機関における評価による総合評価を行う。

- (1) 事前学習及び事後学習における貢献度（10%）  
※授業の中で自主的に課題を発表し、積極的に発言することを評価する。
- (2) 期末レポート（10%）
- (3) 派遣先教育機関における評価（80%）

### その他

- ・ 滞在先はホームステイを予定しています。
- ・ 現地大学等の都合により研修内容に変更が生じる場合があります。
- ・ 説明会日程、応募方法、研修詳細等は明治大学ホームページ内「国際連携・留学」に随時掲載します。
- ・ 不明な点や詳細については国際教育事務室までお問い合わせください。

### 授業の概要・到達目標

明治大学の協定校であるヨーク大学（カナダ）付属の英語研修所（YUELI）と共同して約3週間の夏期研修を開講します。中心となる英語授業のほか、他国からの留学生との交流会やメジャーリーグ観戦、ナイアガラの滝見学等、カナダを満喫できる課外活動が多数予定されています。ヨーク大学での研修を通してコミュニケーション力向上とトロントという多文化環境の中でグローバルな見識を広げることを目標とします。

#### 【研修の特徴】

○York University English Language Institute (YUELI) の教師陣による丁寧な授業……YUELIの教師陣は英語を母国語としない学生への教授経験が大変豊富です。1クラスは約15人で、グループワークを中心に「聞く」「考える」「表現する」を反復し、コミュニケーション力を高めていきます。また、ヨーク大学の学生がアシスタントとして皆さんが参加される授業や課外活動をサポートします。

### 授業内容

授業は月～金曜、英語授業とアカデミック・ワークショップの2本柱で構成されています。

- (1) 英語授業……約15名の能力別クラスで平日午前中に実施されます。英語を使ったコミュニケーション能力向上を目指し、会話力や文章表現力、発音、文法や語彙などに焦点をあてた授業を通し、より正確で円滑なコミュニケーションが図れるよう学びます。
- (2) アカデミック・ワークショップ……平日午後、週2回程度、カナダの「歴史」「経済」「音楽」「食文化」「文化的価値」などのテーマからなるワークショップ開催が予定されています。午前中の英語授業で学んだスキルを活かし、英語を通してカナダに関する新しい知識・見分を深めることを目的としています。

### 履修上の注意

ヨーク大学研修参加希望者は、スコアは問いませんが、応募時に以下のいずれかの英語能力試験のスコアを提出する必要があります。

TOEIC (TOEIC, TOEIC-IP), TOEFL (TOEFL-iBT, TOEFL-ITP), IELTS

### 準備学習の内容

研修国・地域の文化、生活習慣、社会事情等の基礎知識を得るために、各自で事前調査を行ってください。また、研修に出発するまでに、さらに語学力向上を図るため、自主学習を行ってください。学内で実施している講義・講習を受講することも推奨します。

5月から7月にかけて、計3回実施予定の渡航前オリエンテーション（異文化理解や海外での危機管理対策等の内容を含む）及び出発前・帰国後に実施する事前・事後学習への参加を必須とします。

### 教科書

ヨーク大学英語研修所指定のテキストを使用。

### 参考書

必要に応じて紹介します。

### 成績評価の方法

期末レポート、平常点、派遣先教育機関における評価による総合評価を行う。

- (1) 事前学習及び事後学習における貢献度（10%）  
※授業の中で自主的に課題を発表し、積極的に発言することを評価する。
- (2) 期末レポート（10%）
- (3) 派遣先教育機関における評価（80%）

### その他

- ・ 滞在先は、ヨーク大学内の学生寮（1人部屋）を予定しています。
- ・ 現地大学等の都合により研修内容に変更が生じる場合があります。
- ・ 説明会日程、応募方法、研修詳細等は明治大学ホームページ内「国際連携・留学」に随時掲載します。
- ・ 不明な点や詳細については国際教育事務室までお問い合わせください。

**授業の概要・到達目標**

協定校であるマクマスター大学（カナダ）により、明治大学の学生のために特別に企画された英語研修です。約3週間の英語強化プログラムによって英語の表現力を高め、自信を持って英語が活用できるようになることを目標とします。チュートリアルやイブニングクラスなど、英語を活用できる場は豊富に用意されていますので、英語の表現力に磨きをかけたい方、英語で積極的に発信したいチャレンジ精神豊富な方にお勧めです。

**【研修の特徴】**

- 英語授業……約3週間の英語強化プログラムでは、カナダの文化・環境などを題材にしなが、ディスカッションを多く取り入れた授業で実践的な英語を学びます。そのほかチュートリアルセッションやイブニング・クラス（オプション）など、語学力向上の機会が豊富に用意されています。

**授業内容****(1) 授業（午前）**

授業は月～金曜、経験豊富なインストラクターによりディスカッション、課題、プロジェクトやグループワーク等、クラスの状況に合わせた内容で進められる予定です。特にフォーマル／インフォーマル、専門的／実用的、文語／口語等、状況に応じた文法や語彙の応用力獲得を目指します。

**(2) チュートリアル（午後）**

午後はマクマスター大学のティーチング・アシスタント（TA）によるチュートリアルセッションが実施されます。チュートリアルセッションは午前中に実施される授業の理解を深めるためにSupport, Fundamental, Performanceの3つの要素で成り立っています。

- ① Support（授業のサポート）：授業の復習や課題のサポートなど、TAが個別にフォローします。
- ② Fundamentals（英語の原理原則を理解する）：英文法の復習や課題を通じて文法力のレベルアップを図ります。
- ③ Performance（英語能力の向上）：ディスカッションや社会見学、そして舞台発表などを通してさまざまな場面で英語を活用し、会話を高めます。

**● オプション： イブニング・クラス**

マクマスター大学の学生サポーターによる英語力向上プログラムです。少人数のグループに分かれ、リスニング力、発音を含めた会話力、語彙力などのスキルアップを目指していきます。

**履修上の注意**

マクマスター大学研修参加希望者は、スコアは問いませんが、応募時に以下のいずれかの英語能力試験のスコアを提出する必要があります。

TOEIC (TOEIC, TOEIC-IP), TOEFL (TOEFL-iBT, TOEFL-ITP), IELTS

**準備学習の内容**

研修国・地域の文化、生活習慣、社会事情等の基礎知識を得るために、各自で事前調査を行ってください。また、研修に出発するまでに、さらに語学力向上を図るため、自主学習を行ってください。学内で実施している講義・講習を受講することも推奨します。

5月から7月にかけて、計3回実施予定の渡航前オリエンテーション（異文化理解や海外での危機管理対策等の内容を含む）及び出発前・帰国後に実施する事前・事後学習への参加を必須とします。

**教科書**

マクマスター大学指定のテキストを使用。

**参考書**

必要に応じて紹介します。

**成績評価の方法**

期末レポート、平常点、派遣先教育機関における評価による総合評価を行う。

- (1) 事前学習及び事後学習における貢献度（10%）  
※授業の中で自主的に課題を発表し、積極的に発言することを評価する。
- (2) 期末レポート（10%）
- (3) 派遣先教育機関における評価（80%）

**その他**

- ・ 滞在先はマクマスター大学内の学生寮（1人部屋）を予定しています。
- ・ 現地大学等の都合により研修内容に変更が生じる場合があります。
- ・ 説明会日程、応募方法、研修詳細等は明治大学ホームページ内「国際連携・留学」に随時掲載します。
- ・ 不明な点や詳細については国際教育事務室までお問い合わせください。

### 授業の概要・到達目標

例年9月上旬に行われている、ネイティブ・スピーカーによる初歩的なドイツ語会話を練習する集中講座。ドイツ語で「話す・聞く・書く・読む」という総合的な授業で、言語だけではなく、ドイツ語圏の文化や日常生活にも触れることができる。少人数クラスなので、担当教員とも話しやすい。アットホームな雰囲気の中で、外国語を話す時の恥ずかしさを捨て、発言できるようにしたい。到達目標は挨拶や自己紹介、簡単な質問がドイツ語でできるようになることとする。

### 授業内容

ドイツ語会話 I は、この4月からドイツ語を学び始めた学生を対象に、数人の教員が指導している。会話を中心にした共通の教科書によって進むが、学生のニーズと希望に応じて、音楽を聴いたり歌ったり、映画を見たりもする。

### 履修上の注意

学部を問わず誰でも履修はできるが、単位認定は学部によって異なるので、所属学部にお問い合わせのこと。

### 準備学習の内容

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 教科書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 参考書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

応募者は6月にクラス分け試験を受けるが、レベルが合っていないと感じたら、クラス変更を申し出ること。

### 授業の概要・到達目標

例年9月上旬に行われている、ネイティブ・スピーカーによるドイツ語で自分の意見や考えを伝える練習をする集中講座。ドイツ語で「話す・聞く・書く・読む」という総合的な授業で、言語だけではなく、ドイツ語圏の文化や日常生活にも触れることはできる。少人数クラスなので、担当教員とも話しやすい。アットホームな雰囲気のおかげで、外国語を話す時の恥ずかしさを捨て、発言できるようにしたい。到達目標は自分の意見をより詳しくドイツ語で伝えられるようになることとする。

### 授業内容

ドイツ語会話Ⅱは、ドイツ語の基本をマスターした学生を対象に、数人の教員が指導している。会話を中心にした共通の教科書によって進むが、学生のニーズと希望に応じて、音楽を聴いたり歌ったり、映画を見たりもする。

### 履修上の注意

学部を問わず誰でも履修はできるが、単位認定は学部によって異なるので、所属学部に問い合わせること。

### 準備学習の内容

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 教科書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 参考書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

応募者は6月にクラス分け試験を受けるが、レベルが合っていないと感じたら、クラス変更を申し出ること。

### 授業の概要・到達目標

例年9月上旬に行われている、ネイティブ・スピーカーによるドイツ語会話を楽しむための練習をする集中講座。ドイツ語で「話す・聞く・書く・読む」という総合的な授業で、言語だけではなく、ドイツ語圏の文化や日常生活にも触れることができる。少人数クラスなので、担当教員とも話しやすい。アットホームな雰囲気の中で、外国語を話す時の恥ずかしさを捨て、発言できるようにしたい。到達目標は何かのテーマについて自分の意見をある程度自由に発言し、議論できるようになることとする。

### 授業内容

ドイツ語会話Ⅲは、ドイツ語の会話を経験した学生を対象に、数人の教員が指導している。会話を中心にした共通の教科書によって進むが、学生のニーズと希望に応じて、音楽を聴いたり歌ったり、映画を見たりもする。

### 履修上の注意

学部を問わず誰でも履修はできるが、単位認定は学部によって異なるので、所属学部にお問い合わせください。

### 準備学習の内容

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 教科書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 参考書

追って、日程などの詳細と共に知らせる。

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

応募者は6月にクラス分け試験を受けるが、レベルが合っていないと感じたら、クラス変更を申し出ること。

### 授業の概要・到達目標

目的：基礎的な日常会話を身につけるための講座です。また会話に必要な文法もしっかり学びます。大学の正規の授業と異なり少人数でリラックスした雰囲気の中で、経験豊かな、フランス語圏出身のネイティブ・スピーカーの先生による授業が行われます。フランス語は初めてという学生でも、緊張することなく、楽しみながら、会話力を獲得することが出来るはずです。

概要：夏季休業中（例年は8月末から9月上旬）に行われます。詳細は5月下旬より掲示等でお知らせします。

### 授業内容

午前：文法の基礎を確認しながら、初歩的な会話の練習を行います。

午後：午前の復習をより現実に近いシチュエーションに置き換えるなど、日常用いられる生きた表現を使いこなせるように練習します。

### 履修上の注意

応募の方法、日程、時間割、クラス分けの方法などは5月下旬に掲示及び募集要項にて周知しますので、参加希望者は掲示をよく注意して見ることにしてください。

### 準備学習の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

大学内で行われる為、資格を有した講師が丁寧に指導します。卒業後は受講資格はありませんので、学生の内に、視野を広げ、生きた会話に挑戦することのできるこの機会を最大限に利用して下さい。

### 授業の概要・到達目標

目的：フランス語の会話の基礎を身につけた学生が、それをベースに一步進んだ表現を学ぶ講座です。少人数の授業で、経験豊かなフランス語圏出身のネイティブ・スピーカーの先生が丁寧な指導を行います。

概要：夏季休業中（例年は8月末から9月上旬）に行われます。詳細は5月下旬より掲示等でお知らせします。

### 授業内容

午前：初級文法の復習をしながら、会話表現の口頭練習を徹底的に行います。

午後：午前中に学習した内容をベースに表現の幅を広げ、応用練習を行います。

### 履修上の注意

応募の方法、日程、時間割、クラス分けの方法などは5月下旬に掲示及び募集要項にて周知しますので、参加希望者は掲示をよく注意して見ること。

### 準備学習の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 成績評価の方法

- ・授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・小テスト・課題等 30%
- ・ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

大学内で行われる為、資格を有した講師が丁寧に指導します。卒業後は受講資格はありませんので、学生の内に、視野を広げ、生きた会話に挑戦することのできるこの機会を最大限に利用して下さい。

### 授業の概要・到達目標

目的：フランス語の中級レベルの学習者を対象とした講座です。自分の意見を述べ、相手を説得するのに十分な口頭表現力を獲得することを目指します。また現代フランスの社会問題、文化的事項にも触れ、視野を広げます。経験豊かなフランス語圏出身のネイティブ・スピーカーの先生の指導と、少人数のクラスでフランスで生活できるレベルの会話力をつける環境に身を置くことが可能です。

概要：夏季休業中（例年は8月末から9月上旬）に行われます。詳細は5月下旬より掲示等でお知らせします。

### 授業内容

午前：中級文法を復習しながら、会話表現の練習を徹底的に行います。

午後：習得表現を用いて、時事問題等についてフランス語での討論を行います。

### 履修上の注意

応募の方法、日程、時間割、クラス分けの方法などは5月下旬に掲示及び募集要項にて周知しますので、参加希望者は掲示をよく注意して見ること。

### 準備学習の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 教科書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 参考書

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

大学内で行われる為、資格を有した講師が丁寧に指導します。卒業後は受講資格はありませんので、学生の内に、視野を広げ、生きた会話に挑戦することのできるこの機会を最大限に利用して下さい。

### 授業の概要・到達目標

中国語会話の初級集中講座です。入門～初級レベルの学習者および1年以上の学習経験があり、中国語コミュニケーションの実力強化をめざす学習者を対象にします。基本的会話表現を聞き取れ、正確な発音で話すことができるように、徹底的なトレーニングを行います。

### 授業内容

経験豊富なネイティブ・スピーカーの教員が、生きたナマの規範的中国語を聞かせ、正しく模倣できるまで、反復練習を行います。少人数クラスで、教員と受講生が休みなく中国語のキャッチボールができるような、理想的な会話の授業が展開されます。

### 履修上の注意

約2週間にわたり、ハードな、しかし充実した授業が行われるので、学習意欲に溢れ、努力を惜しまない学生の受講が望まれます。

単位の認定は学部により状況が異なるので、各学部事務室で確認してください。

### 準備学習の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 教科書

未定。クラス分けプレースメント・テスト実施後に発表されます。

### 参考書

指定参考書はありません。教員の紹介にしたがってください。

他に、学習用のハンディーな辞典が必要です。

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

受講申し込み者に対して選考試験があります。しかし、この試験は三つのクラスのうち、どのクラスに入ってもらうのが適切かを測定するプレースメント・テストです。受講の可否を決めるものではありません。

### 授業の概要・到達目標

中国語会話の中級集中講座です。中級レベルの学習者（およそ1年以上の学習経験者）で、中国語コミュニケーションの実力強化をめざす受講生を対象にします。中級レベルの会話表現を聞き取れ、正確な発音で話すことができるように、徹底的なトレーニングを行います。

### 授業内容

経験豊富なネイティブ・スピーカーの教員が、生きたナマの規範的中国語を聞かせ、正しく模倣できるまで、反復練習を行います。少人数クラスで、教員と受講生が休みなく中国語のキャッチボールができるような、理想的な会話の授業が展開されます。

### 履修上の注意

約2週間にわたり、ハードな、しかし充実した授業が行われるので、学習意欲に溢れ、努力を惜しまない学生の受講が望まれます。

単位の認定は学部により状況が異なるので、各学部事務室で確認してください。

### 準備学習の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 教科書

未定。クラス分けプレースメント・テスト実施後に発表されます。

### 参考書

指定参考書はありません。教員の紹介にしたがってください。

他に、学習用のハンディーな辞典が必要です。

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

受講申し込み者に対して選考試験があります。しかし、この試験は三つのクラスのうち、どのクラスに入ってもらうのが適切かを測定するプレースメント・テストです。受講の可否を決めるものではありません。

### 授業の概要・到達目標

中国語会話の上級集中講座です。上級レベルの学習者（およそ2年以上の学習経験者）で、中国語コミュニケーションの実力強化をめざす受講生を対象にします。上級レベル会話表現を聞き取れ、正確な発音で話すことができるように、徹底的なトレーニングを行います。

### 授業内容

経験豊富なネイティブ・スピーカーの教員が、生きたナマの規範的中国語を聞かせ、正しく模倣できるまで、反復練習を行います。少人数クラスで、教員と受講生が休みなく中国語のキャッチボールができるような、理想的な会話の授業が展開されます。

### 履修上の注意

約2週間にわたり、ハードな、しかし充実した授業が行われるので、学習意欲に溢れ、努力を惜しまない学生の受講が望まれます。

単位の認定は学部により状況が異なるので、各学部事務室で確認してください。

### 準備学習の内容

日程などの詳細と共に後日お知らせします。

### 教科書

未定。クラス分けプレースメント・テスト実施後に発表されます。

### 参考書

指定参考書はありません。教員の紹介にしたがってください。

他に、学習用のハンディーな辞典が必要です。

### 成績評価の方法

- ・ 授業の平常点（授業態度や授業での発言等によって評価） 70%
- ・ 小テスト・課題等 30%
- ・ ただし、9日間（45時間）の講座のうち、3日（15時間）以上欠席した場合、「T」（「T」がない学部については「F」）となり、単位の認定はできません。

### その他

受講申し込み者に対して選考試験があります。しかし、この試験は三つのクラスのうち、どのクラスに入ってもらうのが適切かを測定するプレースメント・テストです。受講の可否を決めるものではありません。